

令和6年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

「夢創造」の教育力と確かな進路実現力を持つリーディング工科高校
1 基本的な生活習慣の確立を支援し、生徒一人ひとりを大切に、個に応じたきめ細かな指導を行い、今工生としての誇りを醸成し、規律ある安心・安全な学校づくりを推進する。
2 「持続可能な社会の担い手」となれるよう、将来を見据えた様々な資格取得を促す。
3 「令和の学びのスタンダード」の実現を踏まえ、より効果的な教育活動のため ICT を活用するとともに、STEAM 教育の手法を取り入れ、主体的・対話的で深い学びを推進し、PBL 教育により生徒の思考力と創造力をはぐくみ、ものづくりを支える人材を育成する。

2 中期的目標

1 確かな学力の育成
(1)「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善の取組み。
ア 授業見学を奨励し、公開授業・研究授業・授業アンケート等を活用し、授業改善に取り組む。
イ 教育産業の基礎学力調査を実施し、各学年の学習状況と経年変化を把握し、学習指導の向上を図る。
※ 教員の年間授業見学の平均回数を令和8年度には8回にする (R3 6.6回, R4 6.7回, R5 6.0回)。
※ 教員向け学校教育自己診断の設問 35「学校内で他の教員の授業を見学する機会がよくある。」の肯定率を令和8年度には70%にする (R3 66.7%, R4 72.9%, R5 65.9%)。
※ 授業アンケートの質問 5 (教材活用) 結果の2回平均を令和8年度には3.55にする (R3 3.47, R4 3.46, R5 3.52)。
※ 教員向け学校教育自己診断の設問 16「学習指導や教材について精選・工夫を行っている。」の肯定率を令和8年度には91%にする (R3 91.9%, R4 89.6%, R5 86.7%)。
※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 25「授業中の態度は良好である。」の肯定率を令和8年度には87%にする (R3 86.0%, R4 84.1%, R5 85.1%)。
※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 23「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。」の肯定率を令和8年度には82%にする (R3 74.9%, R4 76.3%, R5 79.4%)。
※ 基礎学力調査における全学年平均(1,2年2回、3年1回)のGTZ 平均値(国数英)のC1 ランク以上を令和8年度には46%にする (R3 48.3% [全学年1回], R4 44.4%, R5 41.8%)。
(2) 工科高校の特徴を生かした授業により、生徒の育成を図る。
ア PBL (課題解決型学習) 手法を取り入れた学習を1年「キャリアデザイン」、2年「総合的な探究の時間」、3年「課題研究 (合同班)」で行い、課題を解決していく過程で様々な能力を育成する。
イ 各系課題研究発表会及び合同課題研究発表会を実施する。
※ 授業アンケートの質問 9 (生徒意識 2) [知識・技術の習得] 結果の2回平均を令和8年度には1年「キャリアデザイン」は3.46 (R3 3.32, R4 3.44, R5 3.44))、2年「総合的な探究の時間」は3.46 (R3 3.31, R4 3.30, R5 3.56))、3年「課題研究」は3.72 (R3 PBL 手法では未実施, R4 3.76, R5 3.65))にする。
※ 授業アンケートの質問 1～9の2回平均を令和8年度には1年「キャリアデザイン」は3.53 (R3 3.49, R4 3.54, R5 3.49)、2年「総合的な探究の時間」は3.50 (R3 3.40, R4 3.41, R5 3.59)、3年「課題研究 (合同班)」は3.73 (R3 PBL 手法では未実施, R4 3.71, R5 3.71)にする。
※ 課題研究合同発表会の生徒アンケート「映像配信の見やすさ」の肯定率を令和8年度には70%にする (R4 28.9%, R5 60.4%)。
2 夢と志を持つ生徒の育成
(1) 豊かでたくましい人間性の育成。
ア いじめ対応や教育相談体制の充実を図り、生徒の支援を行う。
イ あらゆる教育活動において人権教育を推進し、生徒の育成を図る。
ウ 生徒に基本的な生活習慣であるマナーの向上とルールを厳守させ、あいさつの励行や遅刻の減少を推進し、中退防止に努める。
※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 22「いじめをなくし、防止しようとしている。」の肯定率を令和8年度には87%にする (R3 86.7%, R4 85.6%, R5 83.4%)。
※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 16「保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる。」の肯定率を令和8年度には62%にする (R3 52.0%, R4 59.2%, R5 62.8%)。
※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 1「学校生活は満足している。」の肯定率を令和8年度には89%にする (R3 89.9%, R4 86.2%, R5 85.8%)。
※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 21「人権の大切さを学ぶ機会がある。」の肯定率を令和8年度には85%にする (R3 83.6%, R4 82.6%, R5 82.5%)。
※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 17「校内では規則・ルールが守られている。」の肯定率を令和8年度には94%にする (R3 93.1%, R4 91.4%, R5 91.2%)。
※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 26「校内では挨拶がかわされている。」の肯定率を令和8年度には97%にする (R3 96.8%, R4 94.8%, R5 94.6%)。
※ 遅刻件数を令和8年度には450件以下にする (R3 376件, R4 448件, R5 470件)。
※ 中退率を令和8年度には1.0%以下にする (R3 0.49%, R4 1.03%, R5 1.81%)。
※ 保護者向け学校教育自己診断の設問 1「今工に入学させて良かった。」の肯定率を96%以上にする (R3 94.8%, R4 96.9%, R5 98.3%)。
※ 保護者向け学校教育自己診断の設問 3「今工は保護者の願いにこたえている。」の肯定率を92%以上にする (R3 87.3%, R4 91.3%, R5 94.9%)。
(2) 生徒の自己実現に向けた支援を図る。
ア 生徒が望ましい勤労観・職業観を身に付けるため、企業や大学等と連携を行い、キャリア・パスポートの活用も含めてキャリア教育・職業教育の充実を図るとともに、様々な資格に挑戦できるよう、日々の学習活動や放課後に指導を行い、頑張る生徒を支援する。
イ きめ細かな進路指導を行い、就職・進学希望者等の多様な進路希望の実現を図る。
ウ 卒業3年後の離職率調査を継続し、就職指導を充実させる。
※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 28「今工生であることに誇りを持っている。」の肯定率を令和8年度には75%にする (R3 78.1%, R4 73.0%, R5 70.3%)。
※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 29「平日の授業以外での学習の時間はどれくらいですか (補習・塾等含む)。」の1時間以上を令和8年度には23%にする (R3 22.2%, R4 19.9%, R5 23.5%)。
※ 資格取得総数を令和8年度には550件にする (R3 549件, R4 543件, R5 473件))。
※ 3年生のSPI テストの総合点を令和8年度には64点にする (R3 62.4点, R4 63.5点, R5 60.7点)。
※ 生徒向け学校教育自己診断の設問 13「進路の情報をよく知らせてくれる。」の肯定率を令和8年度には95%にする (R3 93.4%, R4 91.2%, R5 94.4%)。
※ 就職一次内定率87%以上を目標とする (R3 78.9%, R4 91.1%, R5 93.7%)。
※ 進路実現度100% (就職率・進学率)を目標とする (R3 99.6%(99.4%・100%), R4 98.0%(99.3%・94.8%), R5 99.3%(99.1%・100%))。
※ 離職率20%以下を目標とする (R3 [H30.3卒] 19.1%, R4 [H31.3卒] 20.4%, R5 [R2.3卒] 18.3%)。
3 安全安心で魅力ある学校づくり
(1) 工科高校の魅力を発信し、志願者の安定的確保を図る。
ア 出前授業や地域連携等を積極的に行い、広報活動に努める。
イ 中学校訪問や学校説明会の充実を図り、工科高校の魅力発信に努める。

ウ 入学者選抜の志願者倍率を総合募集・工学系ともに1倍以上確保する。	
※	出前授業や地域連携等を令和8年度には13回以上参加する（R3 11回,R4 14回,R5 17回）。
※	生徒の出身中学校訪問を令和8年度には25名にする（R3 20名,R4 25名,R5 16名）。
※	教員の中学校訪問を年間55校以上実施する（R3 45校,R4 34校,R5 58校）。
※	学校説明会を年間35回以上参加・実施する（R3 37回,R4 34回,R5 37回）。
※	生徒向け学校教育自己診断の設問27「校内では、清掃がいきとどいている。」の肯定率を令和8年度には84%にする（R3 76.5%,R4 83.1%,R5 82.4%）。
※	教員向け学校教育自己診断の設問27「この学校では、清掃がいきとどいている。」の肯定率を令和8年度には76%にする（R3 62.5%,R4 83.3%,R5 73.3%）。
※	全体の志願者倍率（全体〔総合募集・工学系〕を、毎年1倍以上確保する（R4入試 1.00倍〔1.03倍・0.83倍〕,R5入試 0.96倍〔0.94倍・1.06倍〕,R6入試 1.04倍〔1.06倍・0.94倍〕）。
（2）	生徒の潜在能力を高め、部活動を含めた様々な大会で成果を出し、近畿大会や全国大会で上位入賞をめざす。
ア	部活動加入を推奨し、「部活動に係る活動方針」に則った活動と、環境整備や安全対策の強化を図る。
イ	課題研究や部活動等の大会を通じて、上位入賞をめざす。
※	部活動加入率を令和8年度には58%以上にする（R3 55.0%,R4 57.8%,R5 53.0%）。
※	全工協会のコンテストや部活動等で近畿大会・全国大会へ出展・出場して上位入賞をめざす（R3 陸上競技部・水泳部・日本拳法部・放送部・鉄道研究部・山岳スキー部,R4 グラフィックデザイン系・陸上競技部・日本拳法部・放送部・鉄道研究部・山岳スキー部,R5 グラフィックデザイン系・工学系・日本拳法部・放送部・鉄道研究部・ペタンク部・アーツ&クラフツ部）。
（3）	PTAや保護者からの要望を踏まえて改善を図る。
※	保護者向け学校教育自己診断のR5設問13「今工は、教育情報（系選択や就学旅行、進路情報、学校行事など）の情報を提供する努力をしている。」の肯定率を令和8年度には90%にする（R3,R4 未実施,R5 97.5%）。
※	保護者向け学校教育自己診断のR5設問14「授業参観や学校行事等に参加したことがある。」の肯定率を令和8年度には70%にする（R3 51.2%,R4 70.9%,R5 64.4%）。
4 働き方改革の推進	
（1）	「より働きやすい職場環境づくり」を推進するため、ストレスチェック結果を踏まえて安全衛生委員会で議論を行い、改善策は図っていく。
※	ストレスチェック結果における「仕事の量的負担・コントロール度、職場のサポート、総合健康リスク」を、毎年基準値（100、100、100）以下を目標にする（R3 102、109、111,R4 99、100、99,R5 100、105、105）。
（2）	学校保健委員会、安全衛生委員会を活性化するとともに、「大阪府部活動の在り方に関する方針」・「府立学校における働き方改革に係る取組みについて」などを踏まえ、生徒・教職員の健康管理体制を充実させる。
※	在校等時間管理に努め、時間外勤務者のうち月80時間以上を令和8年度には3名以内にする（R3 10名,R4 9名,R5 3名【参考：従来の時間外集計ではR3 9名,R4 5名,R5 1名】）。
※	教員の年間1人当たり平均の在校等時間外を毎年360時間以内に抑制する（R3 327.6時間,R4 334.3時間,R5 295.1時間【参考：従来の時間外集計ではR3 276.7時間,R4 277.5時間,R5 237.1時間】）。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔令和 7 年 1 月実施分〕	学校運営協議会からの意見																																																
【結果(上位)】 ■生徒結果で肯定率の上位8位まで <table><tr><td>1位「校内では、挨拶がかわされている」</td><td>97.8%[^](R5 94.6% 2位)</td></tr><tr><td>2位「高校生活は、人間形成に大切な時期である」</td><td>97.6%[^](R5 95.9% 1位)</td></tr><tr><td>3位「学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる」</td><td>95.3%[^](R5 94.4% 3位)</td></tr><tr><td>4位「校内では規則・ルールが守られている」</td><td>94.1%[^](R5 91.2% 4位)</td></tr><tr><td>5位「学校行事は、みんなが楽しく参加できるように考えられている」</td><td>92.7%[^](R5 87.7% 6位)</td></tr><tr><td>6位「先生は、責任をもって授業やその他の仕事に当たっている」</td><td>92.0%[^](R5 89.5% 5位)</td></tr><tr><td>7位「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」</td><td>91.4%[^](R5 84.6% 12位)</td></tr><tr><td>8位「学校は、生徒1人1台端末を効果的に活用している」</td><td>90.3%[^](R5 86.0% 8位)</td></tr></table> □生徒結果の分析 上位6位までの設問項目は、順位は異なるがR5とすべて同一である。 上位7,8位の肯定率が大きく上昇した。7位は教職員のいじめに対する理解の深まりと生徒に寄り添う指導の向上、8位は教員のICT機器活用の結果であると思われる。 上位8位までの肯定率は、すべて90%以上であり、R5と比較してすべて上昇した。来年度も引き続き生徒の意識がさらに向上できるよう、教職員で指導を行っていきたい。 ◆保護者結果で肯定率の上位4位まで <table><tr><td>1位「お子さんを今工に入学させて良かったと考えている」</td><td>97.3%[^](R5 98.3% 1位)</td></tr><tr><td>2位「今工は、色々特色のある取組をしている」</td><td>95.2%[^](R5 96.6% 4位)</td></tr><tr><td>3位「今工は、保護者の願いにこたえている」</td><td>95.1%[^](R5 94.9% 8位)</td></tr><tr><td>4位「将来の進路や職業について、適切な指導を行っている」</td><td>94.5%[^](R5 98.3% 1位)</td></tr></table> ◇保護者結果の分析 3位はR5より微増したが、それ以外は微減している。 肯定率90%以上は上位10位までであったが、R5は上位12位までであり、全体的に肯定率が低下している。PTA等で保護者から意見を聴取し、肯定率の向上に努めていく。 【結果(下位)】 ■生徒結果で肯定率の下位8位まで <table><tr><td>1位「将来の進路に不安はない」</td><td>51.8%[^](R5 48.3% 1位)</td></tr><tr><td>2位「部活動に積極的に取り組んでいる」</td><td>58.3%[^](R5 52.7% 2位)</td></tr><tr><td>3位「担任以外にも保健室や相談室等で気軽に相談することができる先生がいる」</td><td>68.6%[^](R5 62.8% 3位)</td></tr><tr><td>4位「学校生活についての先生の指導は、納得できる」</td><td>70.4%[^](R4 72.1% 5位)</td></tr><tr><td>5位「自分には将来の夢や目標がある」</td><td>71.7%[^](R5 73.1% 6位)</td></tr><tr><td>6位「今工生であることに誇りを持っている」</td><td>77.2%[^](R5 73.0% 4位)</td></tr><tr><td>7位「学校へ行くのが楽しい」</td><td>82.3%[^](R5 81.3% 11位)</td></tr><tr><td>8位「校内では身勝手な振る舞いが少なく、他人を思いやる道徳的な振る舞いが多い」</td><td>82.7%[^](R5 83.0% 14位)</td></tr></table> □生徒結果の分析 下位6位までの設問項目は、順位は異なるがR5とすべて同一である。 下位1～3,6,7位の肯定率は、R5よりすべて上昇した。 下位2,3,6位の肯定率は大きく上昇した。部活動加入の啓発、生徒の不安や参加しやすい環境整備や教員と生徒との間でメリハリのある指導の中でも相談しやすい体制づくりと、相談室のさらなる啓発、今工生としての誇りの醸成を継続した結果であると思われる。 下位4,5位の肯定率は減少した。生徒指導における納得感の向上と、生徒の夢や目標の具現化の徹底を図っていきたい。 その他の質問項目は、全体的に上昇しており、今後も向上できるよう、教職員全員が結果を共有し、改善に向けて対応する。 ◆保護者結果で肯定率の下位4位まで <table><tr><td>1位「授業参観や学校行事等に参加したことがある」</td><td>77.4%[^](R5 64.4% 1位)</td></tr><tr><td>2位「お子さんは、授業がわかりやすいと言っている」</td><td>78.6%[^](R5 78.0% 2位)</td></tr><tr><td>3位「今工の生徒指導の方針に共感できる」</td><td>84.6%[^](R5 92.4% 5位)</td></tr><tr><td>4位「教育情報（系選択、修学旅行、進路、学校行事など）を提供する努力をしている」</td><td>87.1%[^](R5 97.5% 14位)</td></tr></table> ◇保護者結果の分析 下位1位は、R5と同位であるが、肯定率は大幅に上昇した。さらに参加しやすい工夫を図っていく。 下位2位は、R5と同位で肯定率は微増である。教員のさらなる授業改善を図っていく。 下位3,4位は、R5より大幅に減少した。生徒指導方針は、生徒からの聴取も含めて見直しを検討していく。教育情報の提供は、PTA等で保護者から意見を聴取し、肯定率の向上に努めていく。 ▽保護者の自由記述 (26件) 肯定的な意見：①8件：指導方針 ②1件：欠席・遅刻連絡方法 要望のあった意見：①7件：指導方針 ②5件：保護者連携（学校HP、メール、懇談） ②5件：施設・設備（校舎、女子トイレ、学習端末、エアコン）	1位「校内では、挨拶がかわされている」	97.8% [^] (R5 94.6% 2位)	2位「高校生活は、人間形成に大切な時期である」	97.6% [^] (R5 95.9% 1位)	3位「学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる」	95.3% [^] (R5 94.4% 3位)	4位「校内では規則・ルールが守られている」	94.1% [^] (R5 91.2% 4位)	5位「学校行事は、みんなが楽しく参加できるように考えられている」	92.7% [^] (R5 87.7% 6位)	6位「先生は、責任をもって授業やその他の仕事に当たっている」	92.0% [^] (R5 89.5% 5位)	7位「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」	91.4% [^] (R5 84.6% 12位)	8位「学校は、生徒1人1台端末を効果的に活用している」	90.3% [^] (R5 86.0% 8位)	1位「お子さんを今工に入学させて良かったと考えている」	97.3% [^] (R5 98.3% 1位)	2位「今工は、色々特色のある取組をしている」	95.2% [^] (R5 96.6% 4位)	3位「今工は、保護者の願いにこたえている」	95.1% [^] (R5 94.9% 8位)	4位「将来の進路や職業について、適切な指導を行っている」	94.5% [^] (R5 98.3% 1位)	1位「将来の進路に不安はない」	51.8% [^] (R5 48.3% 1位)	2位「部活動に積極的に取り組んでいる」	58.3% [^] (R5 52.7% 2位)	3位「担任以外にも保健室や相談室等で気軽に相談することができる先生がいる」	68.6% [^] (R5 62.8% 3位)	4位「学校生活についての先生の指導は、納得できる」	70.4% [^] (R4 72.1% 5位)	5位「自分には将来の夢や目標がある」	71.7% [^] (R5 73.1% 6位)	6位「今工生であることに誇りを持っている」	77.2% [^] (R5 73.0% 4位)	7位「学校へ行くのが楽しい」	82.3% [^] (R5 81.3% 11位)	8位「校内では身勝手な振る舞いが少なく、他人を思いやる道徳的な振る舞いが多い」	82.7% [^] (R5 83.0% 14位)	1位「授業参観や学校行事等に参加したことがある」	77.4% [^] (R5 64.4% 1位)	2位「お子さんは、授業がわかりやすいと言っている」	78.6% [^] (R5 78.0% 2位)	3位「今工の生徒指導の方針に共感できる」	84.6% [^] (R5 92.4% 5位)	4位「教育情報（系選択、修学旅行、進路、学校行事など）を提供する努力をしている」	87.1% [^] (R5 97.5% 14位)	■第1回（7/17）開催 ○入学者選抜の結果について 本校は、令和6年度入学者選抜の倍率が1倍を超えることになったが、依然として工科高校を取り巻く状況は厳しいので、工業教育の強みや魅力の情報発信に引き続き取り組んで欲しい。 ○資格指導について 全国工業高等学校長協会主催のジュニアマイスター顕彰など、資格取得に挑む生徒が多いことは企業にとっても必要な人材を得やすく喜ばしいことである。引き続き、資格取得指導に力を入れて欲しい。 ○昨年度の課題研究発表会について 昨年度も素晴らしい課題研究の発表内容ではあったが、プレゼンテーションにおいて説明原稿を読みあげるだけで聞く側からすれば分かりにくい内容も一部に存在した。 今年度は、生徒発表に関するスキルアップについても力を入れて欲しい。 ■第2回（12/18）開催 ○入学者選抜の志願者確保について さらなる志願者増加に向けて、工業系高校が募集停止となった地域を中心に中学校訪問を行い、PR活動を行って欲しい。 ○就職試験の一次内定率について 今年度も一次内定率は高い結果を残しており、特に大企業への就職決定の割合が高い。 引き続き、就職内定率の水準を維持して欲しい。 ○闇バイトに関する講話について 西成警察署による本校初めての取組みであり、生徒たちも興味・関心を持って聞いていた。本校生徒が闇バイトに巻き込まれることがないよう、次年度もこの取組みを行って欲しい。 ■第3回（2/5）開催 ○入学志願者の進路希望状況について 第2回進路希望調査（1月）では、総合募集・単独募集とも定員割れの状態であるが、今年度は教員による中学校訪問・学校説明会・出前授業などを昨年度より数多く実施されている。引続き、志願者確保に向けて取り組んで欲しい。 ○入社3年以内の離職率の状況について 離職率は、昨年度より高い結果であるが、応募前職場見学やインターンシップなどを数多く実施されている。結果を踏まえて、就職先を決定する際、企業と生徒のミスマッチを少しでも減らして欲しい。 ○効果的な情報発信について 今年度も特色づくりとして、企業や地域との連携事業を数多く実施されている。これらの取組みについて、どのように情報発信をすれば効果的であるか、学校ホームページの運用も含め検討して欲しい。
1位「校内では、挨拶がかわされている」	97.8% [^] (R5 94.6% 2位)																																																
2位「高校生活は、人間形成に大切な時期である」	97.6% [^] (R5 95.9% 1位)																																																
3位「学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる」	95.3% [^] (R5 94.4% 3位)																																																
4位「校内では規則・ルールが守られている」	94.1% [^] (R5 91.2% 4位)																																																
5位「学校行事は、みんなが楽しく参加できるように考えられている」	92.7% [^] (R5 87.7% 6位)																																																
6位「先生は、責任をもって授業やその他の仕事に当たっている」	92.0% [^] (R5 89.5% 5位)																																																
7位「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」	91.4% [^] (R5 84.6% 12位)																																																
8位「学校は、生徒1人1台端末を効果的に活用している」	90.3% [^] (R5 86.0% 8位)																																																
1位「お子さんを今工に入学させて良かったと考えている」	97.3% [^] (R5 98.3% 1位)																																																
2位「今工は、色々特色のある取組をしている」	95.2% [^] (R5 96.6% 4位)																																																
3位「今工は、保護者の願いにこたえている」	95.1% [^] (R5 94.9% 8位)																																																
4位「将来の進路や職業について、適切な指導を行っている」	94.5% [^] (R5 98.3% 1位)																																																
1位「将来の進路に不安はない」	51.8% [^] (R5 48.3% 1位)																																																
2位「部活動に積極的に取り組んでいる」	58.3% [^] (R5 52.7% 2位)																																																
3位「担任以外にも保健室や相談室等で気軽に相談することができる先生がいる」	68.6% [^] (R5 62.8% 3位)																																																
4位「学校生活についての先生の指導は、納得できる」	70.4% [^] (R4 72.1% 5位)																																																
5位「自分には将来の夢や目標がある」	71.7% [^] (R5 73.1% 6位)																																																
6位「今工生であることに誇りを持っている」	77.2% [^] (R5 73.0% 4位)																																																
7位「学校へ行くのが楽しい」	82.3% [^] (R5 81.3% 11位)																																																
8位「校内では身勝手な振る舞いが少なく、他人を思いやる道徳的な振る舞いが多い」	82.7% [^] (R5 83.0% 14位)																																																
1位「授業参観や学校行事等に参加したことがある」	77.4% [^] (R5 64.4% 1位)																																																
2位「お子さんは、授業がわかりやすいと言っている」	78.6% [^] (R5 78.0% 2位)																																																
3位「今工の生徒指導の方針に共感できる」	84.6% [^] (R5 92.4% 5位)																																																
4位「教育情報（系選択、修学旅行、進路、学校行事など）を提供する努力をしている」	87.1% [^] (R5 97.5% 14位)																																																

④2件：学習（補習、追試） 各1件：組織体制、体育祭、進路、食堂 保護者の要望を踏まえ、学校教育の改善を図っていく。	
--	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R5年度値]	自己評価
1 確 かな 学 力 の 育 成	(1)「わかる授業、 充実した授業」を めざした授業改善 の取組み ア 授業改善と授業 のICT化による学 力向上	ア・授業見学により自身の指導方法等の改善を図 る(回数は自己申告票の目標設定面談で確 認)。 ・授業見学の機会を促進する。 ・教材活用にICT機器の利用を推奨し、授業ア ンケート結果の向上を図る。 ・各教科で授業アンケート結果を検証した結果 を基に、PDCAサイクルによる向上を図る。 ・様々な機会を通じて授業態度について啓発を 行い、向上を図る。 ・各教科でICT機器を活用して発表するなどの 場面を計画・実施し、向上を図る。	ア・教員の年間授業見学の平均回数 7回[6.0回] ・教員向け学校教育自己診断結果 の「授業見学への機会」への肯定 率69%[65.9%] ・授業アンケート質問5(教材活 用)結果の2回平均3.52[3.52] ・教員向け学校教育自己診断結果 の「指導・教材の工夫等」への肯 定率90%[86.7%] ・生徒向け学校教育自己診断結果 の「授業態度」への肯定率 86%[85.1%] ・生徒向け学校教育自己診断結果 の「考えのまとめ、発表の機会」 への肯定率78%[79.4%]	ア・6.7回(△) ・79.6%(◎) A24.5%、B55.1% (以下、「よく当てはまる」はA、「やや 当てはまる」はBで表示) ・3.54(○) ①3.50、②3.57 (以下、第1回は①、第2回は②で表示) ・92.0%(◎) A36.0%、B56.0% ・90.0%(◎) A49.2%、B40.8% ・87.0%(◎) A40.0%、B47.0%
	イ 基礎学力調査の 学習状況と経年変 化による指導向上 (2)工科高校の特 徴ある授業による 生徒育成 ア PBL手法を取り 入れた学習による 能力の育成	イ・国数英の基礎学力調査結果を教科で検討し、課 題を踏まえて学習指導の向上を図る。 ア・PBL手法を取り入れた「キャリアデザイン」、 「総合的な探究の時間」、「課題研究(合同班)」 では、生徒の知識・技術の習得を図る。 ・PBL手法を取り入れた「キャリアデザイン」、 「総合的な探究の時間」、「課題研究(合同班)」 の授業アンケート結果を踏まえ、手法や指導 書をブラッシュアップし、向上を図る。	イ・基礎学力調査の全学年平均C1ラ ンク以上43%[41.8%] ア・授業アンケート質問9(生徒意識 2)[知識・技術の習得]結果の2 回平均 1年「キャリアデザイン」 3.44[3.44] 2年「総合的な探究の時間」 3.42[3.56] 3年「課題研究(合同班)」 3.70[3.68] ・授業アンケート質問1～9の2 回平均 1年「キャリアデザイン」 3.51[3.49] 2年「総合的な探究の時間」 3.47[3.59] 3年「課題研究(合同班)」 3.72[3.71]	イ・44.7%(◎) 1年①54.7%(総合54.2%、工学57.1%) ②53.8%(総合53.1%、工学57.1%) 2年①39.3%(総合33.9%、工学66.7%) ②49.2%(総合42.7%、工学81.8%) 3年①23.2%(総合15.1%、工学72.0%) ア・3科目のうち2科目達成(○) 1年「キャリアデザイン」 3.50↑ ①3.42、②3.57 2年「総合的な探究の時間」 3.49↑ ①3.46、②3.51 3年「課題研究(合同班)」 3.62↓ ①3.50、②3.74 ・3科目のうち2科目達成(○) 1年「キャリアデザイン」 3.56↑ ①3.50、②3.61 2年「総合的な探究の時間」 3.51↑ ①3.49、②3.52 3年「課題研究(合同班)」 3.65↓ ①3.59、②3.71
	イ 課題研究発表会 の実施	イ・各系・合同の課題研究発表会を実施する。	イ・合同課題研究発表会のオンライ ン映像の見やすさに対する肯定 率63%[60.4%]	イ・66.3%(◎) 発表場所：視聴覚室 (タブレットから映像配信) 生徒視聴場所：各HR教室 (PC受信映像をプロジェクタ投影)
2 夢 と 志 を 持 つ 生 徒 の 育 成	(1)豊かでたくま しい人間性の育成 ア いじめ対応や教 育相談体制の充実	ア・年2回のいじめアンケート実施や教員への相 談を行うよう促し、いじめ案件は迅速な対応 を行う。 ・担任以外に各クラスのアシスト教員2名が支 援できる体制づくりと相談室の啓発を行う。 ・様々な機会を通じて生徒から学校生活に関し て意見を聴取し、改善等の向上を図る。	ア・生徒向け学校教育自己診断結果 の「いじめ対応」への肯定率 86%[83.4%] ・生徒向け学校教育自己診断結果 の「相談できる先生」への肯定率 60%[62.8%] ・生徒向け学校教育自己診断結果 の「学校生活満足度」への肯定率 88%[85.8%]	ア・87.2%(◎) A45.9%、B41.3% ・68.6%(◎) A31.2%、B37.4% ・85.6%(△) A47.3%、B38.3%
	イ 人権教育の推進	イ・様々な機会を通じて人権教育の啓発を行い、 生徒の育成を図る。	イ・生徒向け学校教育自己診断結果 の「人権を学ぶ機会」への肯定率 84%[82.5%]	イ・88.2%(◎) A47.7%、B40.5%
	ウ 基本的な生活習 慣と中退防止	ウ・様々な機会を通じてマナー・ルールの厳守を 促し、基本的な生活習慣を身に付けさせる。 ・様々な機会を通じてあいさつの励行を促し、 人としての礼儀を身に付けさせる。 ・様々な機会を通じて遅刻の減少を促し、基本 的な生活習慣を身に付けさせる。 ・常に遅刻・欠席・学力状況を把握し、中学校 や保護者との連携により中退防止に努める。 ・学校教育自己診断の保護者コメントやPTA、 1年担任の保護者面談からの意見聴取を踏ま え、課題点を解決していく。	ウ・生徒向け学校教育自己診断結果 の「校内ルールの厳守」への肯定 率93%[91.2%] ・生徒向け学校教育自己診断結果 の「あいさつの励行」への肯定率 95%[94.6%] ・遅刻件数440件[470件] ・中退率1.0%[1.81%] ・保護者向け学校教育自己診断結 果の「今工への入学」への肯定率 96%以上[98.3%]	ウ・94.1%(◎) A54.2%、B39.9% ・97.8%(◎) A79.1%、B18.7% ・395件(◎) 遅刻率0.67人[395/593] ・0.51%[3/593](◎) 退学 3名、転学 14名 ・97.3%(○) A71.4%、B25.9%

府立今宮工科高等学校

	（２）生徒の自己実現への支援 ア キャリア教育・職業教育の推進 イ 進路指導の充実と進路実現 ウ 離職率調査と就職指導	・学校教育自己診断の保護者コメントや PTA、各学年担任の保護者面談からの意見聴取を踏まえ、課題点を解決していく。 ア・様々な機会を通じて生徒に今工の良さを啓発し、プライドと誇りを養う。 ・授業で課題等を提供し、授業以外での学習時間を継続的に行う習慣を身に付けさせる。 ・職業教育の充実を図り、成功体験を醸成するため、資格取得の推奨を図る。 イ・自身の適性を図るためのテストを実施し、進路選択に役立てる。 ・進路実現を図るため、生徒にきめ細かな進路情報を提供する。 ・自身の適性を踏まえ、企業情報を基に就職試験を合格するための努力を促す。 ・卒業時には、３年生全員が進路実現を図れるよう指導する。 ウ・就職希望者には、卒業３年後の離職率調査を踏まえ、企業選択の指導を行う。	・保護者向け学校教育自己診断結果の「保護者の願いにこたえる」への肯定率 92%以上[94.9%] ア・生徒向け学校教育自己診断結果の「今工生としての誇り」への肯定率 74%[70.3%] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「授業以外で１時間以上の学習時間」の生徒 22%[23.5%] ・資格取得総数 545 件[473 件] イ・３年 SPI テスト総合点 63 点[60.7 点] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「進路情報連絡」への肯定率 94%[94.4%] ・就職一次内定率 85%以上[93.7%] ・進路実現度（就職率・進学率）100%[98.7%(99.1%・100%)] ウ・離職率 (R3.3 卒) 22%以下[18.3%]	・95.1% (◎) A35.4%、B59.7% ア・77.2% (◎) A34.6%、B42.6% ・18.3% (△) 1～2h11.6%、2～3h 3.0% 3h 以上 3.7% ・390 件 (△) イ・57.5 点 (△) 言語 38.3 点/60 点 数理 19.2 点/40 点 ・95.3% (◎) A56.8%、B38.5% ・88.5% (○) 合格 108 名/受験 122 名 ・98.8%(99.2%・97.7%) (△) 就職 131/132 名、進学 42/ 43 名 ウ・25.7% (△) 離職 47 名/就職 183 名、回答率 100%
3 安全安心で魅力ある学校づくり	（１）工科高校の魅力発信と志願者確保 ア 広報活動 イ 工科高校の魅力発信 ウ 入学者選抜の志願者確保 （２）部活動を含む大会での上位入賞 ア 部活動加入の推奨 イ 課題研究・部活動等の上位入賞 （３）保護者の要望を踏まえた改善	ア・出前授業・地域連携等の広報活動を行い、工科高校の良さを PR する。 イ・生徒が出身中学校へ訪問し、学校 PR を行う。 ・３年間の入試受験実績を基に、中学校を訪問し、学校 PR を行う。 ・中学校や地区別での学校説明会に参加し、学校 PR を行う。 ・生徒に学校環境の維持・改善を図る 5S を指導し、学校美化に努めさせる。 ・教職員に職場環境の維持・改善を図る 5S を推進し、学校美化を指導させる。 ウ・上記ア、イの取組みを図り、入学者選抜の志願者倍率を確保する。 ア・新入生にクラブ説明会を実施し、体験期間を設け、１年担任からも加入を推奨させる。 イ・課題研究や部活動等で近畿大会や全国大会に出品・出場して上位入賞をめざす。 ・系選択、修学旅行、進路情報、学校行事などの情報提供を図る。 ・参加しやすい授業参観や学校行事等の工夫を図る。	ア・出前授業・地域連携等の回数 13 回以上[17 回] イ・出身中学校訪問 21 名[16 名] ・教員中学校訪問年間 55 校以上[58 校] ・学校説明会年間 30 回以上[37 回] ・生徒向け学校教育自己診断結果の「校内清掃」への肯定率 81%[82.4%] ・教員向け学校教育自己診断結果の「校内清掃」への肯定率 74%[73.3%] ウ・全体の志願倍率 1 倍以上[1.04 倍] ア・部活動加入率 56%[53.0%] イ・様々な大会での上位入賞 6 入賞以上[7 入賞] ・保護者向け学校教育自己診断結果の「必要な情報を提供する努力をしている」への肯定率 88%[97.5%] ・保護者向け学校教育自己診断結果の「授業参観や学校行事等に参加したことがある」への肯定率 67%[64.4%]	ア・21 回 (◎) 出前授業 9 回、地域連携 8 回、ものづくりワークショップ等 4 回 イ・21 名 (○) １年「(学)キャリアデザイン」授業の一環で訪問 9 名 硬式野球部員が訪問 12 名 ・112 校 (◎) ・36 回+個別 10 回 (◎) ・86.8% (◎) A43.3%、B43.5% ・84.0% (◎) A34.0%、B50.0% ウ・0.931 倍 (△) 全 体 228/245 名 0.910 倍 総合募集 196/210 名 0.933 倍 工 学 系 32/ 35 名 0.914 倍 ア・58.4% (◎) イ・6 入賞 (○) グラフィックデザイン系、工学系、日本拳法部、鉄道研究部、放送部、ペタンク ・87.1% (△) A59.2%、B27.9% ・77.4% (◎) A42.5%、B34.9%
4 働き方改革の推進	（１）ストレスチェック結果を踏まえた改善 （２）生徒・教職員の健康管理体制の充実	・ストレスチェック結果を踏まえて安全衛生委員会で議論し改善を図る。 ・安全衛生委員会の議論と教員の働き改革を踏まえ、在校等時間外月 80 時間以上の教職員の縮減を図る。 ・平均在校等時間外年 360 時間以内に抑制する。	・仕事の量的負担・コントロール度、職場のサポート、総合健康リスクを基準値（100、100、100）以下[100、105、105] ・在校等時間外月 80 時間以上を 5 名以内[3 名] ・平均在校等時間外年 360 時間以内[295.1 時間]	・101、100、101 (△) ストレスチェック受検率 100% ・2 名 (◎) ・288.4 時間 (◎)